

# 令和2年度概算要求における 準天頂衛星システムに関する主な取組

令和2年度概算要求額 2,020億円（令和元年度予算額 1,527億円）

※文部科学省における宇宙関係予算の額であり、準天頂衛星システムに関する取組に係る予算額を内数に含む

## ○ 準天頂衛星等の打上げに向けたH3ロケットの開発

我が国の自立的な衛星打ち上げ能力を確保するため、官民一体となって、高い成功率を誇るH-2A/Bロケットから更なる信頼性の向上を目指すH3ロケットを開発する（令和2年度試験機初号機・令和3年度試験機2号機打ち上げ予定）。令和4年度から5年度にかけて、H3ロケットにより、準天頂衛星5～7号機を打ち上げ予定。

▶ H3ロケットイメージ



## ○ 準天頂衛星をはじめとする宇宙システム利活用のための人的基盤・科学的基盤の強化

衛星測位等の宇宙分野の裾野拡大を目的として、宇宙航空分野の発展を支える人材育成や宇宙科学技術と異分野シーズとの融合による新たなサービスの創出に係る技術開発等を推進するとともに、大学や研究機関を中心とした産学連携による宇宙連携拠点を構築する。



▲地理空間情報・宇宙技術に関する講義のイメージ



▲高精度測位技術の活用による農作業効率化支援(対象国:マレーシア)

## ○ 測位システムの高度化等の将来を見据えた基盤技術研究

我が国の測位システムの高度化等を目指した基盤技術の研究開発を推進し、今後、大きく成長が予測されるアジア太平洋地域において、センチメートル級測位を可能とする補強信号の高精度化等にも貢献する。